

対象校No. 131
注4

学校コード F128110108654
注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

事前相談

注2
神戸大学大学院 システム情報学研究科 システム情報学専攻 (博士課程前期課程)

【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人神戸大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画部(企画課)
職名・氏名	専門職員・ フジモト 藤本 タカコ 孝子
電話番号	078-803-5020 (内線: 5020)
(夜間)	078-803-5020 (内線: 5020)
e-mail	plan-plan@office.kobe-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

システム情報学研究科

＜システム情報学専攻（博士課程前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人神戸大学

(2) 大 学 名 神戸大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒657-8501
兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	フジサワ マサト 藤澤 正人 令和3年4月1日		
理 事	キド ヨシアキ 木戸 良明 令和3年4月1日		
研究科長	オオカワ タケナオ 大川 剛直 令和2年4月1日	ウスイ ヒデユキ 臼井 英之 令和6年4月1日	任期満了に伴い、大川剛直研究科長から臼井英之研究科長に変更(令和6年4月1日)(6)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
システム情報学研究科 システム情報学専攻 (博士課程前期課程) 修士(システム情報学) 修士(工学)	工学関係	2 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	160 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	80人 (—) [—]	0人 (—) [—]	95人 (—) [—]	0人 (—) [—]	—	1.03倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	105 (—) [8]	— (—) [—]	119 (—) [7]	— (—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	102 (—) [8]	— (—) [—]	112 (—) [6]	— (—) [—]				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	87 (—) [2]	— (—) [—]	98 (—) [4]	— (—) [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	84 (—) [2]	— (—) [—]	97 (—) [4]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	1.05	1.02	1.02	1.02				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	84 [2] (—)	— [—] (—)	97 [4] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	84 [2] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	84 [2] (—)	— [—] (—)	181 [6] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	84 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	181 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{84} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{181} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜システム情報学研究科 システム情報学専攻（博士課程前期課程）＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 盤 科 目	システム情報学概論1	1前	2			3					
	システム情報学概論2	1後	2			3					
	小計(2科目)	－	4	0	0	3	0	0	0	0	0
専 門 科 目	システム計画特論1	1前		2		1					
	システム計画特論2	1後		2			1				
	システム計測特論1	1前		2		1					
	システム計測特論2	1後		2			1				
	システム制御特論1	1前		2		1					
	システム制御特論2	1後		2			1				
	システム数理解論1	1後		2		1					
	システム数理解論2	1前		2		1					
	システム数理解論3	1後		2			1				
	システム数理解論4	1前		2			1				
	システム構造特論1	1前		2			1				
	システム構造特論2	1後		2			1				
	情報セキュリティ運用論 特論1	1前		2		1					
	情報セキュリティ運用論 特論2	1後		2			1				
	システム知能特論1	1前		2		1					
	システム知能特論2	1後		2			1				
	情報数学特論1	1前		2		1					
	情報数学特論2	1後		2			1				
	数理論理学特論1	1前		2			1				
	数理論理学特論2	1後		2		1					
	応用論理学特論1	1前		2			1				
	応用論理学特論2	1後		2		1					
	ソフトウェア特論1	1前		2			1				
	ソフトウェア特論2	1後		2			1				
	情報通信特論1	1前		2		1					
	情報通信特論2	1後		2		1					
	知的データ処理特論1	1前		2		1					
	知的データ処理特論2	1後		2		1					
	メディア情報特論1	1前		2		1					
	メディア情報特論2	1後		2			1				
	創発計算特論1	1前		2		1					
	創発計算特論2	1後		2			1				
	計算基盤特論1	1前		2		1					
計算基盤特論2	1後		2			1					
計算流体特論1	1前		2		1						
計算流体特論2	1後		2				1				
シミュレーション技法特 論1	1前		2		1						
シミュレーション技法特 論2	1後		2			1					
計算分子工学特論1	1前		2		1						
計算分子工学特論2	1後		2			1					
計算生物学特論1	1前		2		1						

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼任
			必修	選択	自由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	
基 盤 科 目	システム情報学概論1	1前	2			25	11				
	システム情報学概論2	1後	2			25	11				
	小計(2科目)	－	4	0	0	25	11	0	0	0	0
専 門 科 目	システム計画特論1	1前		2		1					
	システム計画特論2	1後		2			1				
	システム計測特論1	1前		2		1					
	システム計測特論2	1後		2		1					
	システム制御特論1	1前		2		1					
	システム制御特論2	1後		2			1				
	システム数理解論1	1後		2		1					
	システム数理解論2	1前		2		1					
	システム数理解論3	1後		2		1					
	システム数理解論4	1前		2			1				
	システム構造特論1	1前		2		1					
	システム構造特論2	1後		2			1				
	情報セキュリティ運用論 特論1	1前		2		1					
	情報セキュリティ運用論 特論2	1後		2			1				
	システム知能特論1	1前		2		1					
	システム知能特論2	1後		2			1				
	情報数学特論1	1前		2		1					
	情報数学特論2	1後		2			1				
	数理論理学特論1	1前		2			1				
	数理論理学特論2	1後		2		1					
	応用論理学特論1	1後		2			1				
	応用論理学特論2	1後		2		1					
	ソフトウェア特論1	1前		2		1					
	ソフトウェア特論2	1後		2			1				
	情報通信特論1	1前		2		1					
	情報通信特論2	1後		2		1					
	知的データ処理特論1	1前		2		1					
	知的データ処理特論2	1後		2		1					
	メディア情報特論1	1前		2		1					
	メディア情報特論2	1後		2			1				
	創発計算特論1	1前		2		1					
創発計算特論2	1後		2		1						
計算基盤特論1	1前		2		1						
計算基盤特論2	1後		2		1						
計算流体特論1	1前		2		1						
計算流体特論2	1後		2			1					
シミュレーション技法特 論1	1前		2		1						
シミュレーション技法特 論2	1後		2			1					
計算分子工学特論1	1前		2		1						
計算分子工学特論2	1後		2		1						
計算生物学特論1	1前		2		1						

	計算生物学特論2	1後		2			1			
	計算宇宙科学特論1	1前		2		1				
	計算宇宙科学特論2	1後		2			1			
	小計(44科目)	-	0	88	0	20	19	2	0	0
C、 目 ニ ツ ト 科	システム情報学講究	1通	4			20	19	2		20
	システム情報学実践	2通	4			20	19	2		20
	小計(2科目)	-	8	0	0	20	19	2	0	20
展 開 科 目	応用システム認識論	1前		2						1
	応用システム計画論	1前		2						1
	知能統合特論	1後		2						2
	ソーシャルロボティクス 特論	1後		2						3
	地球シミュレーション	1後		2						3
	大規模シミュレーション 総論	1前		2						9
	超並列処理特論	1前		2						1
	小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	20
	特定研究1	1通	6			20	19	2		
	特定研究2	2通	6			20	19	2		
	小計(2科目)	-	12	0	0	20	19	2	0	0
合計(57科目)		-	24	102	0	20	19	2	0	21
卒業要件及び履修方法										
(履修方法) 必修科目24単位、選択科目から6単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。 (修了要件) 2年以上在学し、専攻の定める授業科目のうちから30単位以上を修得し、かつ、 必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。										

	計算生物学特論2	1後		2		1				
	計算宇宙科学特論1	1前		2		1				
	計算宇宙科学特論2	1後		2			1			
	共創システム情報学特 論1	1後		2		3				
	共創システム情報学特 論2	1後		2		3				
	小計(46科目)	-	0	92	0	25	14	0	0	0
C、 目 ニ ツ ト 科	システム情報学講究	1通	4			25	14			16
	システム情報学実践	2通	4			25	14			16
	小計(2科目)	-	8	0	0	25	14	0	0	16
展 開 科 目	応用システム認識論	1前		2						1
	応用システム計画論	1前		2						1
	知能統合特論	1前		2						2
	ソーシャルロボティクス 特論	1前		2						3
	地球シミュレーション	1後		2						3
	大規模シミュレーション 総論	1前		2						6
	超並列処理特論	1前		2						2
	小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	18
	特定研究1	1通	6			25	14			
	特定研究2	2通	6			25	14			
	小計(2科目)	-	12	0	0	25	14	0	0	0
合計(59科目)		-	24	106	0	25	14	0	0	18
卒業要件及び履修方法										
(履修方法) 必修科目24単位、選択科目から6単位以上を修得し、合計30単位以上修得すること。 (修了要件) 2年以上在学し、専攻の定める授業科目のうちから30単位以上を修得し、かつ、 必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。										

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 盤 科 目	システム情報学概論1	1前	2			21	17	1			
	システム情報学概論2	1後	2			21	17	1			
	小計(2科目)	-	4	0	0	21	17	1	0	0	0
	システム計画特論1	1前		2		1					
	システム計画特論2	1後		2			1				
	システム計測特論1	1前		2		1					
	システム計測特論2	1後		2			1				
	システム制御特論1	1前		2		1					
	システム制御特論2	1後		2			1				
	システム数理特論1	1後		2		1					
	システム数理特論2	1前		2		1					
	システム数理特論3	1後		2			1				
	システム数理特論4	1前		2			1				
	システム構造特論1	1前		2			1				
	システム構造特論2	1後		2			1				
	情報セキュリティ運用論 特論1	1前		2		1					
	情報セキュリティ運用論 特論2	1後		2			1				
	システム知能特論1	1前		2		1					
	システム知能特論2	1後		2		1					
	情報数学特論1	1前		2		1					
	情報数学特論2	1後		2			1				
	数理論理学特論1	1前		2			1				

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、

- ・ 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度】（新）→【令和5年度】（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】（旧）→【令和5

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

【基盤科目】

- ・当該科目の教育体制充実のため、「システム情報学概論1」「システム情報学概論2」の専任教員配置を「教授3」から「教授21」「准教授17」「講師1」に変更。

【専門科目】

- ・担当教員退職のため、「システム知能特論2」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員退職のため、「計算基盤特論2」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員退職のため、「計算流体特論2」の専任教員配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員昇任のため、「ソフトウェア特論1」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【C3ユニット科目】

- ・担当教員退職及び昇任のため、「システム情報学講義」「システム情報学実践」の専任教員配置を「教授20」「准教授19」「講師2」から「教授21」「准教授18」「講師1」に変更。

【展開科目】

- ・教育内容充実のため、「知能統合特論」「ソーシャルロボティクス特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・「特定研究1」及び「特定研究2」の専任教員配置を「教授20」「准教授19」「講師2」から「教授21」「准教授18」「講師1」に変更。

【令和6年度】

【基盤科目】

- ・担当教員退職、採用及び昇任のため、「システム情報学概論1」「システム情報学概論2」の専任教員配置を「教授21」「准教授17」「講師1」から「教授25」「准教授11」に変更。

【専門科目】

- ・担当教員昇任のため、「システム計測特論2」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員昇任のため、「システム数理特論3」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員昇任のため、「システム構造特論1」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員採用のため、「システム知能特論2」の専任教員配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員退職のため、「計算生物学特論2」の専任教員配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員退職のため、「計算分子工学特論2」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員昇任のため、「創発計算特論2」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「共創システム情報学特論1」新設（配当年次：1後）のため専任教員として「教授3」を配置。
- ・「共創システム情報学特論2」新設（配当年次：1後）のため専任教員として「教授3」を配置。
- ・「応用論理学特論1」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

【C3ユニット科目】

- ・担当教員退職、採用及び昇任のため、「システム情報学講義」「システム情報学実践」の専任教員配置を「教授21」「准教授18」「講師1」から「教授25」「准教授14」に変更。

【展開科目】

- ・担当教員退職、採用及び昇任のため、「特定研究1」及び「特定研究2」の専任教員配置を「教授21」「准教授18」「講師1」から「教授25」「准教授14」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	51 科目	0 科目	57 科目	6 科目 [0]	53 科目 [2]	0 科目 [0]	59 科目 [2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{57} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校 舎 敷 地	519,742㎡	-㎡	-㎡	519,742㎡			
	運動場用地	110,814㎡	-㎡	-㎡	110,814㎡			
	小 計	630,556㎡	-㎡	-㎡	630,556㎡			
	そ の 他	565,455㎡	-㎡	-㎡	565,455㎡			
	合 計	1,196,011㎡	-㎡	-㎡	1,196,011㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	369,043㎡ (369,043㎡)	-㎡ (-㎡)	-㎡ (-㎡)	369,043㎡ (369,043㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	23室	9室	127室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	システム情報学研究科 システム情報学専攻			51 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	電子ジャーナルについては研究科単位での特定不能なため、大学全体の数
	システム情報学研究科 システム情報学専攻	433,224 [216,071] (433,224 [216,071])	42,895 [39,238] (42,895 [39,238])	37,836 [36,272] (37,836 [36,272])	1,495 (1,495)	328 (328)	0 (0)	
	計	433,224 [216,071] (433,224 [216,071])	42,895 [39,238] (42,895 [39,238])	37,836 [36,272] (37,836 [36,272])	1,495 (1,495)	328 (328)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	26,548㎡		2,057席		3,147,893冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	7,367㎡		テニスコート22面		武道場2面			
			弓道場2面		洋弓場			
			プール (25m)		屋内プール (25m)			
			ハンドボールコート		馬場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	神 戸 大 学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	4
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学科	4	100	－	400	学士(文学)	1.11	1.07	－	平成13	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1	
国際人間科学部											
グローバル文化学科	4	140	－	560	学士(学術)	1.1	1.01	－	平成29	兵庫県神戸市灘区鶴甲1-2-1	
発達コミュニティ学科	4	100	3年次5	410	学士(学術)	1.06	1.02	－	平成29	兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11	
環境共生学科	4	80	3年次3	326	学士(学術)	1.07	1.01	－	平成29	同上	
子ども教育学科	4	50	3年次2	204	学士(学術)・ 学士(教育学)	1.01	0.98	－	平成29	同上	
法学部											
法律学科	4	180	3年次20	760	学士(法学)	1.04	0.98	－	昭和24	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1	
経済学部											
経済学科	4	270	3年次20	1120	学士(経済学)	1.14	1.04	－	昭和24	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1	
経営学部											
経営学科	4	260	3年次20	1080	学士(経営学又は商学)	1.1	1.02	－	昭和24	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1	
理学部											
数学科	4	28	－	112	学士(理学)	1.26	1.21	－	昭和29	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1	
物理学科	4	35	－	140	学士(理学)	1.2	1.17	－	昭和29	同上	
化学科	4	30	－	120	学士(理学)	1.15	1.1	－	昭和29	同上	
生物学科	4	25	－	100	学士(理学)	1.18	1.15	－	昭和29	同上	
惑星学科	4	35	－	140	学士(理学)	1.1	1.06	－	平成5	同上	
学科共通			3年次25	50							
医学部											
医学科	6	112	2年次5	697	学士(医学)	1.01	0.95	令和4	昭和39	兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1	医学科入学定員は、平成21年度から100人、平成22年度から103人、平成23年度から105人、平成24年度から108人、平成25年度から110人、平成26年度から112人に変更(平成20年度までは95人)
保健学科	4	160	－	640		1.04	1.01	－	平成7	兵庫県神戸市須磨区友が丘7-10-2	平成30年度より看護学専攻3年次編入学10人募集停止
看護学専攻	4	80	－	320	学士(看護学)	1.04	1.01	－	平成7	同上	
検査技術科学専攻	4	40	－	160	学士(保健衛生学)	1.06	1.02	－	平成7	同上	
理学療法専攻	4	20	－	80	学士(保健学)	1.02	1	－	平成7	同上	
作業療法学専攻	4	20	－	80	学士(保健学)	1.07	1.01	－	平成7	同上	

工学部												
建築学科	4	93	-	372	学士 (工学)	1.06	1.01	-	平成19	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1		
市民工学科	4	63	-	252	学士 (工学)	1.07	1.04	-	平成19	同上		
電気電子工学科	4	93	-	372	学士 (工学)	1.13	1.05	-	平成4	同上		
機械工学科	4	103	-	412	学士 (工学)	1.13	1.07	-	平成4	同上		
応用化学科	4	106	-	424	学士 (工学)	1.05	1.02	-	平成4	同上		
情報知能工学科	4	107	-	428	学士 (工学)	1.07	1.02	-	平成4	同上		
学科共通			3年次 20	40								
農学部												
食料環境システム学科	4	36	-	144	学士 (農学)	1.11	1.05	-	平成20	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1		
資源生命科学科	4	55	-	220	学士 (農学)	1.06	1.02	-	平成20	同上		
生命機能科学科	4	69	-	276	学士 (農学)	1.03	1.01	-	平成20	同上		
学科共通			3年次 10	20								
海洋政策科学部												
海洋政策科学科	4	200	3年次 10	820	学士 (海洋政策科学又は商船学)	0.99	0.99	令和3	令和3	兵庫県神戸市東灘区深江南町5-1-1		
海事科学部												
グローバル輸送科学科	4	-	-	-	学士 (海事科学)	-	-	-	平成25	兵庫県神戸市東灘区深江南町5-1-1	令和3年度より募集停止	
海洋安全システム科学科	4	-	-	-	学士 (海事科学)	-	-	-	平成25	同上	令和3年度より募集停止	
マリンエンジニアリング学科	4	-	-	-	学士 (海事科学)	-	-	-	平成25	同上	令和3年度より募集停止	
学科共通			-	-							令和5年度より募集停止	
大学全体	4*	2530	140	10639	-	1.07	1.01	-	-		*医学部医学科は除く	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - 本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - 「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<システム情報学研究科 システム情報学専攻（博士課程前期課程）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

研究科内の教育推進委員会の下にカリキュラム・FDワーキンググループを設置（関係規程等はなし）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

月1回行われる教育推進委員会に合わせて実施（3名）

c 委員会の審議事項等

- ・教育活動の質向上のための企画・実施に関すること
- ・教育活動の点検・評価及び改善に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・教員による担当講義などに関する自己評価の実施
- ・自己評価集計結果の分析
- ・カリキュラム等の点検

b 実施方法

年2回の教員自己評価を実施。翌年度に再実施することで教員の授業改善度合いを評価する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

教員自己評価

- ・9月及び3月に全教員を対象として教員自己評価を実施。
- ・自己評価の結果を収集し、分析を実施。
- ・授業評価アンケートは、授業終了後に実施。

シラバスと実際の授業との点検と意見交換

- ・異分野共創C3ユニット科目を含めたカリキュラム点検を3月に実施（5名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

自己評価結果による分析等内容に基づき各教員で授業改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

最終の授業終了後に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員・学生への結果公表は本学教務システムで行う。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教員配置、授業科目等、概ね計画どおりに開設できたことにより、順調にその取り組みを行っていると考えます。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・自己点検・評価の結果の公表は、2026年度を予定している。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・次期評価期間内（2022-2028年度）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。